

第 章 調査の概要

1 調査の趣旨

「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月)、「愛媛県子ども読書活動推進計画」(平成16年3月)により、県内各地において、子どもの読書活動を推進するための様々な取り組みが展開されている。

今後、これらの取り組みを更に充実し、継続的に実践するためには、読書環境を整備するとともに、地域における図書館、学校、読書ボランティア等が連携・協力して活動することが不可欠である。そこで、県内の学校や関係施設・団体等の読書環境の整備及び読書推進の活動状況の実態を把握し、さらに、推進活動の情報を関係機関等へ提供することにより、連携・協力が可能となる環境を整備して、全県下における推進活動のより一層の普及と促進を図ることを目的として、本調査を実施した。

2 調査の概要

(1) 調査の対象及び回答

調査対象施設		対象数	回答数	回答率
学校	小学校	362	291	80.4%
	中学校	146	115	78.8%
	高等学校・中等教育学校	76	60	78.9%
	特別支援・その他学校	13	10	76.9%
	小 計	597	476	79.7%
保育所(園)		400	193	48.3%
幼稚園		185	133	71.9%
公共図書館(分館3含む)		34	34	100.0%
公民館		310	138	44.5%
その他の団体・施設等	保健センター	60	36	60.0%
	児童館	42	29	69.0%
	P T A 連合会	18	10	55.6%
	その他関連施設	66	30	45.5%
	小児科のある病院等	25	11	44.0%
	小 計	211	116	55.0%
計		1,737	1,090	62.8%

(2) 調査方法

対象別に調査票を送付・回収

(3) 調査時期

平成18年9月～10月

(4) 調査内容

詳細は、調査票参照 (巻末に掲載)

調査対象	調査項目	
学校	読書環境整備の状況	施設 (面積、位置)
		図書 (蔵書数、年間受入冊数)
		閲覧スペース (閲覧席数、椅子席以外のスペース)
		運営 (開室(館)日・時間、担当者の配置)
	利用の状況	年間貸出冊数、過去 5 年間の貸出冊数の状況
	地域開放の状況	
	読書活動推進の状況	取り組みの状況、内容
保育所(園) 幼稚園	読書環境整備の状況	絵本・児童書 (所蔵数、貸出の有無)
	読み聞かせ等の活動状況	実施の状況、内容
	連携・協力の状況	実施の状況、内容、必要性、連携・協力先
図書館	読書環境整備の状況	施設 (児童室(コーナー)の設置、面積、位置)
		図書 (年間受入冊数)
		ヤングアダルトコーナーの整備
		運営 (開室(館)日・時間、担当者の配置)
	利用の状況	過去 5 年間の貸出状況
	読書活動推進の状況	取り組みの状況、内容
公民館	読書環境整備の状況	施設 (図書室(コーナー)の設置)
		図書 (所蔵数、貸出の有無)
		運営 (開室日・時間)
	子どもの読書や本に関する活動の状況	実施の状況、内容
	連携・協力の状況	実施の状況、内容、必要性、連携・協力先
その他の 団体・施設等	子どもの読書や本に関する活動の状況	実施の状況、内容
	連携・協力の状況	実施の状況、内容、必要性、連携・協力先

第 章 調査結果の概要

1 学校

(回答数：小学校 291、中学校 115、高等学校・中等教育学校 60、特別支援・その他学校 10)

読書環境整備の状況

(1) 施設の状況

図書室(館)の面積

図書室(館)の面積を、校種別でみると、

- ・ 小学校は、51～100 m²が 44.3%で最も多い。
- ・ 中学校は、51～100 m²が 33.9%、101～150 m²が 27.0%で、合わせて 60%を越えている。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、151～200 m²が 46.7%で最も多い。
- ・ 特別支援・その他学校は、51～100 m²が 40.0%で最も多い。

図書室(館)の位置

図書室(館)は、「教室の近くにあって児童・生徒が利用しやすい位置にある」と、小学校 84.2%、中学校 75.7%、高等学校・中等教育学校 63.3%、特別支援・その他学校は 70.0%が答えている。

(2) 図書の状況

蔵書冊数

平成 18 年 4 月 1 日現在の図書室(館)の蔵書冊数は、

- ・ 小学校は、2,501～10,000 冊が 73.5%で最も多い。
- ・ 中学校は、2,501～10,000 冊が 56.5%で最も多い。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、10,001～20,000 冊が 45.0%で最も多い。
- ・ 特別支援・その他学校は、2,501～10,000 冊が 40.0%で最も多い。

図書室(館)以外での図書の整備

「図書室(館)以外でも、図書を置いている場所(教室やホールなど)がある」のは、小学校 93.5%、中学校 69.6%、高等学校・中等教育学校 70.0%、特別支援・その他学校は 40.0%である。

年間受入冊数

図書室(館)で、平成 17 年度に新規に受け入れた図書は、

- ・ 小学校は、201 冊以上が 51.5%で最も多い。
- ・ 中学校は、201 冊以上が 65.2%で最も多い。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、201 冊以上が 61.7%で最も多い。
- ・ 特別支援・その他学校は、101～200 冊が 40.0%で最も多い。

(3) 閲覧スペースの状況

閲覧席数

図書室(館)内の閲覧用座席数は、

- ・ 小学校は、20 席未満 28.9%、20～30 席 26.1%、31～40 席 22.0%、41 席以上 21.3%と

大きな差はない。

- ・ 中学校は、41 席以上 39.1%、31～40 席 33.0%で、合わせて 70%を超えている。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、41 席以上が 73.3%で最も多い。
- ・ 特別支援・その他学校は、20 席未満が 50.0%で最も多い。

椅子席以外の閲覧スペースの有無

「椅子席のほか、畳やカーペットなど直接座って閲覧できるスペースがある」のは、小学校 49.1%、中学校 32.2%、高等学校・中等教育学校 0.5%、特別支援・その他学校は 10.0%である。

(4) 運営の状況

開室(館)の状況

図書室(館)は、「開校日には、ほとんど開室(館)している」学校は、小学校 97.3%、中学校 98.3%、高等学校・中等教育学校 98.3%、特別支援・その他学校 90.0%である。

また「長期休業中にも開室(館)日を設けている」のは、小学校 62.9%、中学校 38.3%、高等学校・中等教育学校 71.7%、特別支援・その他学校 20.0%である。

開室(館)時間

- ・ 「全授業時間帯」開室(館)しているのは、小学校 69.8%、中学校 16.5%、高等学校・中等教育学校 53.3%、特別支援・その他学校 80.0%である。
- ・ 「昼休み」は、小学校 83.2%、中学校 96.5%、高等学校・中等教育学校 98.3%、特別支援・その他学校 80.0%が開室(館)している。
- ・ 「放課後」は、小学校 29.9%、中学校 44.3%、高等学校・中等教育学校 95.0%、特別支援・その他学校 80.0%が開室(館)している。

担当者の配置

開室(館)時における担当者(児童・生徒の図書委員は除く)の配置状況は、

- ・ 「常時配置」が、小学校は 3.8%、中学校 31.3%、高等学校・中等教育学校 56.7%、特別支援・その他学校は 10.0%である。
- ・ 「時間帯により配置」するのは、小学校 30.6%、中学校 36.5%、高等学校・中等教育学校 31.7%、特別支援・その他学校 20.0%である。
- ・ 「ほとんどいない」「全くいない」は、小学校 64.6%、中学校 32.2%、高等学校・中等教育学校 11.7%、特別支援・その他学校 60.0%である。

運営の担当者

図書室(館)運営の担当者(児童・生徒の図書委員は除く)を、担当する時間が多い順に3つ選択してもらったところ、「司書教諭以外の教諭」が、小学校 77.3%、中学校 63.5%、高等学校・中等教育学校 83.3%、特別支援・その他学校 53.3%で最も多く、次いで「司書教諭」「図書室(館)担当職員」の割合が高くなっている。

利用の状況

(1) 年間貸出冊数の状況

平成 17 年度における児童・生徒 1 人当たり年間貸出冊数は、

- ・ 小学校は、8 冊以上が 73.5%で最も多い。
- ・ 中学校は、1 冊以上 4 冊未満が 35.7%で最も多い。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、1 冊以上 4 冊未満が 51.7%で最も多い。
- ・ 特別支援・その他学校は、8 冊以上が 60.0%で最も多い。

(2) 過去 5 年間ににおける貸出冊数の状況

過去 5 年間ににおける貸出冊数の状況は、

- ・ 「増加の傾向にある」は、小学校 43.0%、中学校 29.6%、高等学校・中等教育学校 38.3%、特別支援・その他学校は 40.0%である。
- ・ 「減少の傾向にある」のは、小学校 2.7%、中学校 4.3%、高等学校・中等教育学校 20.0%である。
- ・ 「あまり変化はない」のは、小学校 53.3%、中学校 62.6%、高等学校・中等教育学校 41.7%、特別支援・その他学校は 40.0%である。

地域開放の状況

図書室(館)を地域住民へ「開放している」のは、小学校 6.5%、中学校 1.7%、高等学校・中等教育学校 3.3%で、ほとんどの学校が開放していない。

読書活動推進の状況

(1) 読書活動推進の取り組みの状況

各学校における読書活動推進の取り組みは、「積極的に取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」を合わせると、小学校で 92.1%、中学校 71.4%、高等学校・中等教育学校 78.3%、特別支援・その他学校 70.0%である。

(2) 読書活動推進の取り組みの内容

一斉読書

朝の読書等、学校全体の取り組みとして実施する一斉読書は、

- ・ 小学校は、17 年度・18 年度とも 99.0%が実施している。
- ・ 中学校は 17 年度 88.7%、18 年度 87.8%が実施している。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、17 年度 78.3%、18 年度 85.0%が実施している。
- ・ 特別支援・その他学校は、17 年度・18 年度とも 20.0%が実施している。

(実施している学校には、一斉読書の開始時期、頻度、1 回に使用する時間、一斉読書はどのような内容で実施しているかを調査)

教科学習等における図書や図書室（館）の活用

教科学習等において図書や図書室（館）の活用を、

- ・ 小学校は、17年度・18年度ともすべての学校が実施している。
- ・ 中学校は、17年度 99.1%、18年度 98.3%が実施している。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、17年度 90.0%、18年度 93.3%が実施している。
- ・ 特別支援・その他学校は、17年度 80.0%、18年度 90.0%が実施している。

（実施している学校には、どのような時間に活用したかについて調査）

読み聞かせ

読み聞かせは、

- ・ 小学校は、17年度 92.8%、18年度 95.5%が実施している。
- ・ 中学校は、17年度・18年度とも 15.7%が実施している。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、17年度 15.0%、18年度 8.3%が実施している。
- ・ 特別支援・その他学校は、17年度 90.0%、18年度にはすべてが実施している。

（実施している学校には、対象、実施する時間帯、読み聞かせの実施者を調査）

ブックトーク

ブックトークは、

- ・ 小学校は、17年度 28.2%、18年度 35.4%が実施している。
- ・ 中学校は、17年度・18年度とも 24.3%が実施している。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、17年度 10.0%、18年度 20.0%が実施している。
- ・ 特別支援・その他学校は、実施していなかった。

（実施している学校には、対象、実施する時間帯、ブックトークの実施者について調査）

その他の活動

～ 以外の活動は、

- ・ 小学校は、17年度 96.9%、18年度 97.6%が実施している。
- ・ 中学校は、17年度 94.8%、18年度 97.4%が実施している。
- ・ 高等学校・中等教育学校は、17年・18年度とも 98.3%が実施している。
- ・ 特別支援・その他学校は、17年度・18年度とも 70.0%が実施している。

活動の内容は、読書記録、多読賞、読書感想文（画）コンクール、読書まつり・図書室まつり等の本や読書に関するイベント、読書日（週間・月間）や親子読書日（週間・月間）の実施、図書室だより・図書館報の発行、推薦図書・必読図書リストの作成などである。

連携・協力の状況

（1）連携・協力の実施状況

子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力をしているのは、「積極的に実施している」「少し実施している」を合わせると、小学校 78.7%、中学校 34.7%、高等学校・中等教育学校 36.7%、特別支援・その他学校 30.0%である。

(2) 連携・協力の実施内容

小学校

- ・ 「読み聞かせ・おはなし会」の連携・協力が最も多く、17年度は211校が実施、89校が「PTAや地域住民」と、79校が「ボランティア」と連携・協力している。18年度は220校が実施、103校が「PTAや地域住民」と、85校が「ボランティア」と連携・協力している。
- ・ 「公立図書館等の団体貸出の利用」は、17年度101校、18年度112校が実施している。
- ・ 「図書室（館）の運営に関する用務」での連携・協力は、17年度37校が実施し、26校が「PTAや地域住民」と、11校が「ボランティア」と連携・協力している。18年度は44校が実施、32校が「PTAや地域住民」と、10校が「ボランティア」と連携・協力している。

中学校

「公立図書館等の団体貸出の利用」が最も多く、17年度18校、18年度21校が実施している。

高等学校・中等教育学校

「公立図書館等の団体貸出の利用」が最も多く、17年度・18年度とも13校が実施している。

特別支援・その他学校

「公立図書館等の団体貸出の利用」が最も多く、17年度3校、18年度2校が実施している。

(3) 連携・協力の必要性

今後の子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と考えているのは、小学校88.7%、中学校75.7%、高等学校・中等教育学校60.0%、特別支援・その他学校40.0%である。

(4) 連携・協力の相手先

今後の連携・協力にあたり、有効と考える相手先を3つ選択してもらったところ、

- ・ 公立図書館
小学校92.6%、中学校92.0%、高等学校・中等教育学校91.7%、特別支援・その他学校75.0%が1位から3位に挙げ、最も多くなっている。
- ・ PTA、保護者、地域住民
小学校84.1%、中学校58.6%、高等学校・中等教育学校52.8%、特別支援・その他学校75.0%が挙げている。
- ・ ボランティア
小学校76.0%、中学校50.6%、高等学校・中等教育学校19.4%、特別支援・その他学校75.0%が挙げている。

2 保育所（園）・幼稚園 （回答数：保育所（園）193、幼稚園133）

読書環境整備の状況

（1）絵本・児童書の所蔵状況

平成18年4月1日現在、保育所（園）、幼稚園が所蔵する絵本や児童書は、

- ・ 保育所（園）は、501冊～1,000冊が31.6%で最も多く、次いで101～300冊21.8%である。
- ・ 幼稚園は、501冊～1,000冊が34.6%で最も多く、次いで1,001冊以上が29.3%である。

（2）貸出の有無

保育所（園）、幼稚園で所蔵する絵本や児童書を貸し出しているのは、保育所（園）は65.3%、幼稚園は73.7%である。

読み聞かせ等の活動の状況

（1）読み聞かせの実施状況

保育所（園）・幼稚園での絵本の読み聞かせの実施状況は、

- ・ 保育所（園）は、17年度92.7%、18年度95.3%が実施している。
- ・ 幼稚園は、17年度95.5%、18年度96.2%が実施している。

（実施している保育所（園）・幼稚園には、その頻度、1回の読み聞かせに使用する時間、読み聞かせ以外に実施している内容、読み聞かせ等の実施者を調査）

（2）絵本や児童書に興味を持たせるための行事や活動の実施状況

「読み聞かせ」以外で、子どもが絵本や児童書に興味を持つような行事や活動は、

- ・ 保育所（園）は、17年度41.5%、18年度44.6%が実施している。
- ・ 幼稚園は、17年度59.4%、18年度61.7%が実施している。

（実施している保育所（園）・幼稚園には、その具体的な内容を調査）

連携・協力の状況

（1）連携・協力の実施状況

子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力をしているのは、「積極的に実施している」「少し実施している」を合わせると、保育所（園）で48.7%、幼稚園で69.1%である。

（2）連携・協力の実施内容

保育所（園）

- ・ 「読み聞かせ・おはなし会」の連携・協力が最も多く、17年度は49所（園）が実施、31所（園）が「ボランティア」と、11所（園）が「公立図書館」、9所（園）

が「保護者や地域住民」と連携・協力している。

18年度は54所(園)が実施、37所(園)が「ボランティア」と、12所(園)が「公立図書館」、9所(園)が「保護者や地域住民」と連携・協力している。

- ・ 「公立図書館等の団体貸出の利用」は、17年度27所(園)、18年度33所(園)が実施している。
 - ・ 「絵本や児童書の整理や修繕等」での連携・協力は、17年度29所(園)が実施し、17所(園)が「保護者や地域住民」、10所(園)が「他の所(園)」と連携・協力している。
- 18年度は31所(園)が実施、18所(園)が「保護者や地域住民」と、10所(園)が「他の所(園)」と連携・協力している。

幼稚園

- ・ 「読み聞かせ・おはなし会」の連携・協力が最も多く、17年度は66園が実施、35園が「保護者や地域住民」、23園が「ボランティア」、15園が「公立図書館」と連携・協力している。
- 18年度は41園が実施、32園が「保護者や地域住民」、25園が「ボランティア」、15園が「公立図書館」と連携・協力している。
- ・ 「公立図書館等の団体貸出の利用」は、17年度33園、18年度34園が実施している。
 - ・ 「絵本や児童書の整理や修繕等」での連携・協力は、17年度28園が実施し、21園が「保護者や地域住民」、5園が「他の園」と連携・協力している。
- 18年度は29園が実施、21園が「保護者や地域住民」と、5園が「他の園」と連携・協力している。

(3) 連携・協力の必要性

今後の保育所(園)・幼稚園における読み聞かせや絵本等に興味を持たせるための行事・活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と考えているのは、保育所(園)で77.7%、幼稚園で78.2%である。

(4) 連携・協力の相手先

今後の連携・協力にあたり、有効と考える相手先を3つ選択してもらったところ、

- ・ P T A、保護者、地域住民
保育所(園)の63.3%、幼稚園の82.7%が1位から3位に挙げ、最も多くなっている。
- ・ 公立図書館
保育所(園)の51.3%、幼稚園の71.2%が挙げている。
- ・ ボランティア
保育所(園)の68.7%、幼稚園の50.0%が挙げている。

3 図書館 (回答数: 34)

読書環境整備の状況

(1) 施設の状況

児童室(コーナー)の設置

児童室(コーナー)を設置している図書館は、34館のうち32館(94.1%)である。

児童室(コーナー)の面積

児童室(コーナー)の面積は、101~150㎡が25.0%で最も多く、次いで50~100㎡と151~200㎡が、それぞれ21.9%である。

児童室(コーナー)の位置

児童室(コーナー)は、「図書館の中で子どもが利用しやすい位置にある」と、84.4%が答えている。 <(問2-3)>

(2) 図書の状況

平成17年度、新規に受け入れた児童図書の冊数は、

- ・ 購入は、501~1,000冊及び1,001~1,500冊を受け入れた館が最も多く、それぞれ25.0%である。
- ・ 寄贈は、500冊未満が46.9%である。

(3) ヤングアダルトコーナーの整備状況

- ・ ヤングアダルトコーナーは43.8%の図書館が設置している。
- ・ ヤングアダルトコーナーの冊数は、平均1,424冊で、最も多い館は8,583冊である。

(4) 児童室(コーナー)を設置していない図書館の状況

児童図書の所蔵状況

児童室(コーナー)がない2館でも、児童図書を所蔵している。

児童図書の年間受入冊数

17年度、購入は約200冊及び600冊、寄贈は約20冊及び40冊を受け入れている。

児童図書の配架

2館とも、一般図書と区別し、児童図書のみ配架している。

(5) 児童室(コーナー)の運営の状況

開室の状況

児童室(コーナー)の開室時間は、

- ・ 平日は、9:30~18:00が28.1%で最も多い。
- ・ 土・日・祝日は、9:00~17:00、9:30~18:00がそれぞれ21.9%である。

運営担当者の状況

児童室（コーナー）の運営の担当は、「兼務職員」が最も多く 37.5%、次いで「特定の職員は置かず職員全体で運営する」31.3%、「専任職員」25.0%である。

利用の状況

過去5年間における児童図書の貸出の状況は、「増加の傾向にある」が 53.1%、「減少の傾向にある」のは 15.6%、「あまり変化はない」は 21.9%である。

読書活動推進の状況

（1）読書活動推進の取り組みの状況

各図書館における読書活動推進の取り組みは、「積極的に取り組んでいる」「まあまあ取り組んでいる」を合わせると 70.6%である。

（2）読書活動推進の内容

おはなし会

17年度・18年度とも 88.2%が実施している。

ブックスタート

17年度 44.1%、18年度 52.9%が実施している。

講座・講演会・研修会

17年度 26.5%、18年度 32.4%が、子ども向けの教室・講座のほか、読み聞かせ研修等を実施している。

（3）取り組みができない理由

読書活動推進の取り組みが「あまりできていない」「ほとんどできていない」図書館 10館は、その主な理由として「対応する職員がいない、または不足している」「事業予算がない」を挙げている。

連携・協力の状況

（1）連携・協力の実施状況

子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力を「積極的に実施している」「少し実施している」図書館は、91.2%（31館）である。

（2）連携・協力の実施内容

おはなし会

17年度・18年度とも 30館で連携・協力がある。

ブックスタート

17年度15館、18年度18館が実施している。

講座・講演会・研修会

17年度8館、18年度10館が実施している。

(3) 連携・協力の必要性

今後の子どもの読書活動推進のための行事や活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と、91.2%の図書館が答えている。

(4) 連携・協力の相手先

今後の連携・協力にあたり、有効と考える相手先を3つ選択してもらったところ、

- ・ 小学校が、87.1%で最も多い。
- ・ ボランティアは、67.7%である。
- ・ 保育所(園)・幼稚園が、58.1%である。

4 公民館 (回答数：138 うち「該当なし」の回答が38あるため100で集計)

読書環境整備の状況

(1) 図書室(コーナー)設置の状況

公民館内に図書室(コーナー)があると答えたのは、100館のうち88館(88.0%)である。

(2) 図書室(コーナー)の開室日・時間の状況

開室日(1週間当たり)

1週間のうち週5~7日開室している館が最も多く、86.4%である。

開室時間(1日当たり)

1日のうち7時間以上開室している館が最も多く、76.1%である。

(3) 児童図書の整備状況

図書室(コーナー)がある公民館のうち95.5%が児童図書を置いている。

児童図書の所蔵冊数は、200冊未満が42.9%で最も多く、1,001冊以上を所蔵する公民館は17.9%である。

児童図書を所蔵する公民館の91.7%が、貸出も実施している。

子どもの読書や本に関する行事・活動等の実施状況

(1) 子どもの読書や本に関する行事・活動等の取り組みの状況

子どもの読書や本に関する行事や活動等の取り組みをしているのは、28.0%の公民館である。

(2) 子どもの読書や本に関する行事・活動等の内容

おはなし会

17年度は16館、18年度は18館で実施している。

(実施している公民館には、その頻度、内容、実施者を調査)

おはなし会以外の行事や活動

「おはなし会」以外で、子どもが絵本や児童書に興味を持つような行事や活動(多読賞、読書感想文・画、図書室だより発行など)は、17年度は10館、18年度は14館で実施している。

連携・協力の状況

(1) 連携・協力の実施状況

子どもの読書や本に関する行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力を「積極的に実施している」「少し実施している」公民館は、31.0%である。

(2) 連携・協力の実施内容

おはなし会

17年度は16館が実施、9館が「ボランティア」、5館が「地域住民」、4館が「学校、幼稚園等」と連携・協力している。

18年度は18館が実施、10館が「ボランティア」、8館が「地域住民」、5館が「学校、幼稚園等」と連携・協力している。

図書室に関する用務

17年度は14館が実施、6館が「地域住民」及び「ボランティア」と連携・協力している。

18年度は17館が実施、7館が「地域住民」及び「ボランティア」と連携・協力している。

(3) 連携・協力の必要性

今後の子どもの読書や本に関する行事や活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と、49.0%の公民館が答えている。

(4) 連携・協力の相手先

今後の連携・協力にあたり、有効と考える相手先を3つ選択してもらったところ、

- ・ 小学校が最も多く、73.5%が1位から3位に挙げている。
- ・ P T A、保護者、地域住民は、63.3%が挙げている。
- ・ 公立図書館は、46.9%が挙げている。

5 その他の団体・施設等

(回答数：116 うち「該当なし」の回答が59あるため57で集計)

子どもの読書や本に関する行事・活動等の状況

(1) 子どもの読書や本に関する行事・活動等の取り組みの状況

子どもの読書や本に関する行事や活動の取り組みは、

- ・ 保健センターは、10センターが実施している。
- ・ 児童館は、23館が実施している。
- ・ P T A 連合会は、2連合会が実施している。
- ・ その他関連施設は、5施設が実施している。
- ・ 小児科のある病院等は、2病院が実施している。

(2) 子どもの読書や本に関する行事や活動の内容

おはなし会

- ・ 保健センターは、17年度・18年度とも5センターで実施している。
- ・ 児童館は、17年度・18年度とも22館で実施している。
- ・ P T A 連合会は、17年度1連合会、18年度は2連合会で実施している。
- ・ その他関連施設は、17年度3施設、18年度4施設で実施している。
- ・ 小児科のある病院等では17年度1病院、18年度2病院で実施している。

(実施している団体・施設等には、その頻度、内容、実施者を調査)

おはなし会以外の行事や活動

「おはなし会」以外で、子どもが絵本や児童書に興味を持つような行事や活動(ブックスタート、講座・教室の開催など)は、

- ・ 保健センターは、17年度7センター、18年度10センターで実施している。(そのうちブックスタートは、17年度6センター、18年度8センターである。)
- ・ 児童館は、17年度1館、18年度2館で実施している。
- ・ P T A 連合会は、17年度・18年度とも1連合会で実施している。
- ・ その他関連施設は、17年度1施設、18年度2施設で実施している。
- ・ 小児科のある病院等では17年度・18年度とも1病院で実施している。

連携・協力の状況

(1) 連携・協力の実施状況

子どもの読書や本に関する行事や活動において、他団体・施設等と連携・協力を「積極的に実施している」「少し実施している」のは、保健センターは10センター、児童館は18館、P T A 連合会2連合会、その他関連施設は5施設である。

(2) 連携・協力の実施内容

読み聞かせ、おはなし会

- ・ 保健センターは、17 年度・18 年度とも 7 センターで実施、17 年度はそのうち 6 センターが「ボランティア」、2 センターが「公立図書館」と連携・協力している。18 年度は 5 センターが「ボランティア」、3 センターが「公立図書館」と連携・協力している。
- ・ 児童館は、17 年度は 17 館で実施、そのうち 15 館が「ボランティア」、3 館が「学校・幼稚園等」と連携・協力している。18 年度は 18 館が実施、そのうち 15 館が「ボランティア」、2 館が「公立図書館」「学校・幼稚園等」と連携・協力している。
- ・ P T A 連合会は、17 年度 1 連合会が「ボランティア」と連携・協力して実施、18 年度は 2 連合会が「ボランティア」「公立図書館」と連携・協力して実施している。
- ・ その他関連施設は、17 年度 3 施設が実施、3 施設が「ボランティア」と連携・協力している。18 年度は 4 施設が実施、4 施設とも「ボランティア」と連携・協力している。

(3) 連携・協力の必要性

今後の子どもの読書や本に関する行事や活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と、保健センターは 10 センター、児童館 21 館、P T A 連合会 6 連合会、その他関連施設の 5 施設、小児科のある病院等は 2 病院が答えている。

(4) 連携・協力の相手先

今後の連携・協力にあたり、有効と考える相手先を 3 つ選択してもらったところ、

- ・ 保健センターは、「公立図書館」「ボランティア」「子育て支援センター」
- ・ 児童館は、「公立図書館」「ボランティア」「P T A・保護者・地域住民」
- ・ P T A 連合会は、同数で「小学校」「中学校」「公立図書館」「ボランティア」
- ・ その他関連施設は、「公立図書館」「ボランティア」「公民館」
- ・ 小児科あり病院等は、「保育所(園)・幼稚園」、次いで同数で「公立図書館」「P T A・保護者・地域住民」「児童館」「ボランティア」を多く選んでいる。

6 連携・協力の状況

本調査では、子どもの読書活動推進のための活動における連携・協力の実施状況を把握することを主たる目的としていることから、学校、保育所（園）、幼稚園、図書館、公民館、その他団体・施設等に、連携・協力の状況を把握するための調査を行った。

また、今後の活動における連携・協力の必要性についての意識も調査した。

(1) 連携・協力の実施状況

学校等における連携・協力の実施状況、実施の内容、その相手先、ボランティアとして活動するグループや個人数を、以下のとおり把握した。

調査対象別の連携・協力の実施状況

子どもの読書活動推進のための活動において、他団体・施設等との連携・協力を「積極的に実施している」「少し実施している」のは、次のとおりである。

調査対象種別・数			連携・協力実施数
学校	小学校	n=291	229 校 (78.7%)
	中学校	n=115	40 校 (34.7%)
	高等学校・中等教育学校	n=60	22 校 (36.7%)
	特別支援・その他学校	n=10	3 校 (30.0%)
保育所（園）		n=193	94 所・園 (48.7%)
幼稚園		n=133	92 園 (69.1%)
図書館		n=34	31 館 (91.2%)
公民館		n=100	31 館 (31.0%)
その他の 団体・団体等	保健センター	n=13	10 センター (76.9%)
	児童館	n=24	18 館 (75.0%)
	P T A 連合会	n=6	2 連合会 (33.3%)
	その他関連施設	n=11	5 施設 (45.5%)
	小児科あり病院等	n=3	0

連携・協力の内容

「積極的に実施している」「少し実施している」と答えた学校等が、連携・協力した活動として最も多くあげたのは「読み聞かせやおはなし会」で、次いで「公立図書館等の団体貸出の利用」「読書環境の整備」「図書室（館）の運営に関する用務」などをあげている。

連携・協力の相手先

連携・協力の相手先は、「読み聞かせやおはなし会」「読書環境の整備」「図書室（館）の運営に関する用務」においては、「P T A や保護者」「地域住民」及び「ボランティア」が最も多くあげられている。

「公立図書館」は、「公立図書館等の団体貸出の利用」で多くあげられている。

「PTAや保護者」「地域住民」「ボランティア」との連携・協力の状況

本調査では、学校や施設等における「PTAや保護者」「地域住民」「ボランティア」の活動状況を確認することができた。

ここでは、「PTAや保護者」「地域住民」「ボランティア」の多くが実施している「読み聞かせやおはなし会」「読書まつり等、読書に関するイベント」「読書環境の整備」「図書室（館）の運営に関する用務」を、いずれの場で実践しているかを、調査対象別及び県内3地域別（東予・中予・南予の各地域）にみた。

17年度

(施設数)

調査対象種別	東予地域	中予地域	南予地域	計
小学校	48	63	50	161
中学校	2	5	2	9
高等学校・中等教育学校	1	0	0	1
特別支援・その他学校	0	2	0	2
保育所（園）	10	15	22	47
幼稚園	17	27	11	55
図書館	11	10	9	30
公民館	5	4	9	18
その他の団体・施設等	11	9	7	27
計	105	135	111	351

18年度

(施設数)

調査対象種別	東予地域	中予地域	南予地域	計
小学校	52	70	58	180
中学校	4	3	3	10
高等学校・中等教育学校	0	1	1	2
特別支援・その他学校	0	2	0	2
保育所（園）	11	15	23	49
幼稚園	17	29	11	57
図書館	11	10	9	30
公民館	6	5	8	19
その他の団体・施設等	10	7	10	27
計	111	142	124	377

学校・施設等で活動するグループ数

本調査において確認した、学校や施設等でボランティアとして活動する「PTAや保護者」「地域住民」「ボランティア」のグループや個人の数、次のとおりであった。

東予地域	中予地域	南予地域	合計
110	97	69	276

なお、これらのグループについては、活動の場や内容等について、今後も調査を継続し、「ボランティアを求める側」と「ボランティア活動の場を求める側」の双方に役立つ情報を収集・提供することが必要である。

(2) 今後の連携・協力について

本調査では、今後の活動における連携・協力の必要性とその有効な相手先についての意識を調査した。

連携・協力の必要性

今後の子どもの読書活動推進のための活動において、他団体・施設等との連携・協力が「必要である」と答えたのは、次のとおりである。

調査対象種別・数			「必要」と回答
学校	小学校	n=291	258校(88.7%)
	中学校	n=115	87校(75.7%)
	高等学校・中等教育学校	n=60	36校(60.0%)
	特別支援・その他学校	n=10	4校(40.0%)
保育所(園)		n=193	150所・園(77.7%)
幼稚園		n=133	104園(78.2%)
図書館		n=34	31館(91.2%)
公民館		n=100	49館(49.0%)
その他の 団体・団体等	保健センター	n=13	10センター(76.9%)
	児童館	n=24	21館(87.5%)
	P T A 連合会	n=6	6連合会(100.0%)
	その他関連施設	n=11	5施設(45.5%)
	小児科あり病院等	n=3	2病院(66.7%)

これを、他団体・施設等との連携・協力を「積極的に実施している」「少し実施している」現状と比較してみると、多くの学校・施設等が「現状では連携・協力が十分できていないが、今後の連携・協力が必要である」と考えていることがわかる。

調査対象		連携・協力実施数	「必要」と回答
学校	小学校	229校(78.7%)	258校(88.7%)
	中学校	40校(34.7%)	87校(75.7%)
	高等学校・中等教育学校	22校(36.7%)	36校(60.0%)
	特別支援・その他学校	3校(30.0%)	4校(40.0%)
保育所(園)		94所・園(48.7%)	150所・園(77.7%)
幼稚園		92園(69.1%)	104園(78.2%)
図書館		31館(91.2%)	31館(91.2%)
公民館		31館(31.0%)	49館(49.0%)
その他の 団体・団体等	保健センター	10センター(76.9%)	10センター(76.9%)
	児童館	18館(75.0%)	21館(87.5%)
	P T A 連合会	2連合会(33.3%)	6連合会(100.0%)
	その他関連施設	5施設(45.5%)	5施設(45.5%)
	小児科あり病院等	0	2病院(66.7%)

連携・協力の相手先

連携・協力が「必要である」としている学校・施設等が、連携・協力にあたって有効と考えている相手先として3つ選択してもらったところ、「公立図書館」「PTA、保護者、地域住民」「ボランティア」が多くあげられた。

調査対象種別・数		有効な相手先（1位から3位）
小学校	n=258	公立図書館(92.6%) PTA、保護者、地域住民(84.1%) ボランティア(76.0%)
中学校	n=87	公立図書館(92.0%) PTA、保護者、地域住民(58.6%) ボランティア(50.6%)
高等学校・中等教育学校	n=36	公立図書館(91.7%) 高等学校(55.6%) PTA、保護者、地域住民(52.8%)
特別支援・その他学校	n=4	PTA、保護者、地域住民(75.0%) 公立図書館(75.0%) ボランティア(75.0%)
保育所(園)	n=150	ボランティア(68.7%) PTA、保護者、地域住民(63.3%) 公立図書館(51.3%)
幼稚園	n=104	PTA、保護者、地域住民(82.7%) 公立図書館(71.2%) ボランティア(50.0%)
図書館	n=31	小学校(87.1%) ボランティア(67.7%) 保育所(園)、幼稚園(58.1%)
公民館	n=49	小学校(73.5%) PTA、保護者、地域住民(63.3%) 公立図書館(46.9%)
保健センター	n=10	公立図書館(80.0%) ボランティア(80.0%) 子育て支援センター(60.0%)
児童館	n=21	公立図書館(71.4%) ボランティア(71.4%) PTA、保護者、地域住民(42.9%)
PTA連合会	n=6	小学校(50.0%) 中学校(50.0%) 公立図書館(50.0%) ボランティア(50.0%)
その他関連施設	n=5	公立図書館(100.0%) ボランティア(100.0%) 公民館(40.0%)
小児科あり病院等	n=2	保育所(園)、幼稚園(100.0%) PTA、保護者、地域住民(50.0%) 公立図書館(50.0%) 児童館(50.0%) ボランティア(50.0%)